

平成30年度 第5回 東松島市復興まちづくり計画市民委員会 【開催概要】

平成 31 年 1 月 21 日（月）19 時より、東松島市役所本庁舎 202 会議室において、市民委員 14 名およびアドバイザー企業 5 社が出席し、平成 30 年度第 5 回東松島市復興まちづくり計画市民委員会が開催されました。

【内容】

1. 協議事項 ～復興まちづくり計画に関する検討～



～復興まちづくり計画に関する検討～

はじめに、これまでの市民委員会の検討結果について振り返り、委員同士で意見交換を行いました。その後、渥美市長を交えて意見交換を行いました。

◇子どもの学力向上について（一部意見を要約）

- ・子どもの学力低下が進んでおり、心配。定住促進のためにも、教育環境の充実は大きな魅力となる。（市民委員）
- ・子どもたちに自発的に学習する意識を持たせることがポイント。そのための教育手法を先生方に持っていただくことが必要。（市民委員）
- ・今年度より夏休みを5日間短縮した。これにより、義務教育の9年間で授業時間が約 270 時間（＝約2か月分）増えることとなる。学習時間の確保が学力向上に直結するわけではないが、まずはスタートラインとして実施したところである。夏季の時間増加に伴い、エアコンの設置も進めている。また、英語教育の ALT（外国語指導助手）の増加や電子黒板・電子教材の導入などにも取り組んでいる。また、11の学校すべてにコミュニティスクールを導入しており、学校だけでなく地域・家庭も一緒に子ども達を育てていく。（渥美市長）

◇その他の意見（一部意見を要約）

- ・市で様々な良い取り組みがされているが、情報発信力が弱い。各事業に対する市民の関心を強めるためにも、情報発信を強化してほしい。（市民委員）
- ・本市は仙台市と石巻市との中間に位置している。この地の利を活かした定住促進策を推進してほしい。（市民委員）

※詳細は、別紙会議記録をご確認ください。

